

加須市ゼロカーボンシティ推進協議会

令和7年度推進共通取組項目『食品ロス削減』について

令和7年10月10日  
令和7年度第2回加須市ゼロカーボンシティ推進協議会  
会議資料

# 1. 令和7年度推進共通取組項目の取組みについて

前回会議の議題

令和7年度推進共通取組項目『食品ロス削減』の取組方法について

## 取組項目

『食品ロス削減』 ※令和6年度実施のアンケート結果を踏まえ、令和6年度第2回協議会にて決定

## 取組方法

食品ロス削減推進法に定められた10月の「食品ロス削減月間」、10/30の「食品ロス削減の日」に合わせて、普及啓発を実施する。

## 普及啓発方法

- ①加須市ゼロカーボンシティ推進協議会と加須市の名義で啓発チラシを作成する。
- ②啓発チラシを活用して、できる範囲で所属団体ごとの方法でPRを実施する。



第2回協議会（今回）にて事務局案を示し、ご意見を伺う

事務局案

別紙5-1 「啓発チラシ」

## 2. 今後の取組みについて

### 提案

ゼロカーボンの取組みの普及啓発ツールの一つとして、今後、不定期に啓発チラシを発行していく。

### 発行時期（例）

- 1月 成人の日
- 3月 加須市民の日（ゼロカーボンシティ宣言の日）
- 6月 環境月間
- 10月 食品ロス推進月間

フリースペースとして、  
事業所や団体、学校ごとに自由に加工OK

10月は食品ロス削減月間!!  
~10月30日は食品ロス削減の日~

食べ残し  
もったいない!

買すぎない!  
作りすぎない!  
注文しすぎない!

食品ロス削減の取組は  
ゼロカーボンにもつながる!

日本では、食べられるのに捨てられる食品(食品ロス)の量が年間464万トン(東京ドーム約3.7個分)と推計されており、日本の人口(102グラム)が捨てられている計算になります。

食品ロスをもたないだけでなく、食品の製造過程や大量に捨てられた食品ゴミを処理する際に二酸化炭素が発生し、地球温暖化にもつながります。食品ロスを減らすためにできることは、買い物時に「買すぎない」、料理を作る際に「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」、そして「食べきる」ことが重要です。

他にも、ご家庭で使いきれない食品を団体等を通じて必要の人に無償で提供する活動「フードドライブ」や生ごみをたい肥化する「コンポスト」の活用などがあります。一人ひとりができることから始めてみましょう!

加須市では生ごみ処理容器の一部購入補助を行なっています

かぞゼロカーボン新聞 特別号  
2025年 10月10日発行

加須市ゼロカーボンシティ推進協議会  
(事務局: 加須市環境政策課)  
0480-62-1111 (内線231)

(例)

# 10月は食品ロス削減月間！！

～10月30日は食品ロス削減の日～



# 食 べ 残 し

# も っ た い な い !

買  
い  
す  
ぎ  
な  
い  
!  
作  
り  
す  
ぎ  
な  
い  
!  
注  
文  
し  
す  
ぎ  
な  
い  
!  
そ  
し  
て、  
食  
べ  
き  
る  
!

**食品ロス削減の取組は  
ゼロカーボンにもつながる！**

日本では、食べられるのに捨てられる食品（食品ロス）の量が年間46万トン（令和5年度／東京ドーム約3・7個分）と推計されており、日本の人口一人当たり毎日おにぎり一個（102グラム）が捨てられていく計算になります。

食品ロスをもつたいたないだけでなく、食品の製造過程や大量に捨てられた食品ごみを処理する際に二酸化炭素が発生し、地球温暖化にもつながります。食品ロスを減らすためにできることは、**「買い物時に「買いすぎない」、料理を作る際に「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」、そして「食べきる」ことが重要**です。

他にも、ご家庭で使いきれない食品を団体等を通じて必要な人に無償で提供する活動「フードドライブ」や生ごみをたい肥化する「コンポスト」の活用などがあります。

一人ひとりができることから始めてみましょう！



加須市では生ごみ処理容器の一部購入補助を行なっています